

## 2010年度のCO2排出量見込み

全体の排出量の約9割を占める7業種（電気事業連合会、石油連盟、日本鉄鋼連盟、日本化学工業協会、日本製紙連合会、セメント協会、電機電子4団体）における見通しをもとに、産業・エネルギー転換部門34業種からの2010年度のCO2排出量を予測したところ、1990年度の排出量を若干下回った。

引き続き自主行動計画にもとづく取り組みを強化することによって、「1990年度レベル以下」という自主行動計画の全体目標は十分に達成可能な範囲にあるといえる。

## 主要業種予測に基づく2010年の排出量見込み

	2003年度実績	2010年度予測
主要7業種	45,096万 t-CO2	45,174万 t-CO2
(全体に占める割合)	(89.8%)	
34業種合計	50,239万 t-CO2	50,326万 t-CO2
1990年度比	0.6%	0.5%
生産活動量*		03年より約1%増

\* 生産活動量の見込みは、各業種の2010年生産活動量見通しをCO2排出量の大きさに応じて加重平均したものを全体の生産活動量の変化量とした。